

# 新型コロナウイルス感染症 地方自治体に何が求められているか

新型コロナウイルス感染症から人々の命を守ることが、国と地方自治体の最大の責務となっています。

憲法25条の生存権を保障し、「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」（第2項）の具体化を図る事です。

## 自粛要請と一体に補償を

イベントや外出の自粛要請によって、直接・間接に関係団体や小業者が倒産・廃業の危機に立たされています。感染拡大防止という公共のために起きた損失を国が補償することは待った無しです。

感染への不安から受診・利用が控えられて

## 「量出制入」が財政の原理

財政学の重要概念に、「量出制入」（出するを量つて入るを制する）：支出がどれだけ必要かをまず決め、そのために収入をどのようにして調達するのかを決める。財政の原理。一方、「量入制出」（入るを量つて出するを制する）：収入が先に決まり、その範囲内で支出を決定する。家計や企業の原理。一があります。

私たちは、収入の範囲内でやり繰りするところが当たり前だと考え

に死去しました。日本では1月3日に中国人男性が武漢市滞在中に発熱、6日に日本に帰国し、国立感染症研究所で16日に感染を確認。安倍総理は27日に「指定感染症」決定を表明しました。日本は中国とは患者規模は異なりますが、ほぼ同時進行でした。しかし、安倍政権の状況認識の甘さや対応の失敗が連続し、日本

に死にました。日本では1月3日に中国人男性が武漢市滞在中に発熱、6日に日本に帰国し、国立感染症研究所で16日に感染を確認。安倍総理は27日に「指定感染症」決定を表明しました。日本は中国とは患者規模は異なりますが、ほぼ同時進行でした。しかし、安倍政権の状況認識の甘さや対応の失敗が連続し、日本

## 大規模な“濃厚接触”社会でよいのか

コロナ危機は1、2年で終わる問題ではないかもしれません。東京一極集中が大規模な“濃厚接触”社会を生み、人がいなくなった地方は衰退する日本でよいのか。グローバル経済より足元の地域経済に目を向け、持続可能な社会をつくっていくことが求められています。

## フライブルク市

SDGsの先進都市としてドイツのフライブルク市が有名です（上図・書籍参照）。鶴岡市は2009（平成21）年にドイツ・南シュヴァルツヴァルト自然公園と友好協定を締結しましたが、フライブルク市はその西側の玄関都市です。

- 第1章 貧困をなくそう
- 第2章 飢餓をゼロに
- 第3章 すべての人に健康と福祉を
- 第4章 質の高い教育をみんなに
- 第5章 ジェンダー平等を実現しよう
- 第6章 安全な水とトイレを世界中に
- 第7章 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 第8章 働きがいも経済成長も

## 日本は中国とほぼ同時進行だった

最初の感染症の出現は2019年12月30日、武漢中心病院眼科医が「SARS感染で7人が病院に隔離」とSNSで発信に始まり、2020年1月1日に中国国営テレビが「デマ」と報じ、医師は警察に事情聴取され訓戒処分。しかし9日に武漢市当局が新型コロナウイルス

政転換の指針」井出英策著・岩波新書  
つまり人々が「首をくくるか廃業するか」という危機の中で、収入の範囲内で支出すればいいとはなりません。人々が本当に必要としている現場で、財政支出がどれだけ必要かを民主的に決定し、そのための財源を、国の交付金や自治体の蓄え、地方債（借金）を活用して、あらゆる手立てをつくす時です。



学芸出版社2019.09.01発行

環境首都が目指す次のステージ  
ドイツのフライブルクではSDGsに関わる市民・企業活動が多彩に広がり、それらが個々の活動をこえて誰やかに関係している、その活動と連携のありよう、それを支える自治体の設備・仕組みを紹介し、SDGs未実施都市実現のためのヒントを挙げる。学芸出版社

【漢詩 農シリーズ】⑩

農回顧

其十一

風和五月挿秧時  
跣歩没跂塗若飴  
跣痒行膝何看血  
蠨蛸水蛭噏泥肌

農回顧

其の十一

風和す五月秧を挿すの時  
跣歩跂を没し塗 飴の若し  
跣痒し行膝 何と血を看み  
蠨蛸 水蛭 泥 肌を噏う

城貞(藤の花)

五月になり、穏やかな風が吹き、稲の苗を植えている。

田植えで一歩一歩、足を泥に深く沈めると、泥が水あめのように、足にまとわりついてくる。

素足で田に入り足が痒くて見たら、脚絆がなんと血で染まっている。イモリやヒルが、泥で汚れた肌に噛みついていてはいないか。

和〓やわらぐ。挿〓さしこむ。秧〓稲の苗。跣歩〓ひとあし。跂〓すね。塗〓泥。飴〓あめ。跣〓はだし。行膝〓きゃはん。蠨蛸〓イモリ。水蛭〓ヒル。噏〓吸う。



鶴岡市有機農業推進協議会の指導で、藤島では小学生の田んぼの生きもの調査がおこなわれている

# 世界の国々 ツバル

## 世界最小国の生き様

青山 崇



フィジー共和国に位置し、6つの環礁と3つのサンゴ礁島から国土面積はわずか26km<sup>2</sup>、人口1万弱で小国の多い域内でも例をみない、バチカン市国は1000人未満で世界一少ない人口だが、これは特殊な事情で、ツバルは実質世界一のミニ国家である。



首都フナフチがあるフナフチ島の写真(下図)を見ると滑走路が島の中心部を占める状況である。

19世紀末にイギリス植民地となり1978年独立したが、サンゴ礁でさしたる産業もなく歳入だけでは自立できない。

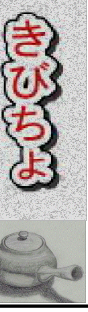
それで、諸外国からの資金・技術援助に依存し、また「難民」的にニュージーランドやアメリカで出稼ぎ生活する者も多い。

さらに海没問題もある。すでに書いたようにこの域内は、平均海抜が数mという島しょが多いので海没問題を抱えている。

ツバルは2〜3mなので深刻である。2009年に開かれた気候変動枠組条約第

15回締約国会合(COP15)で、ツバルは、一刻も早く取組を進めなければならぬと、反対する国を説得している。

同時に有料ゴミ袋制度を導入したところ、家庭ごみの削減効果は極めて顕著で、その結果世界平均の2倍のペースで海面上昇が進んでいるにもかかわらず、8つの環礁と約4分の3の岩礁で面積が広くなり、国土面積は2・9%拡大している。



### 生業補償は毎月

このところ、我が県のコロナの発生がゼロの日が増えてサ、危険が遠ざかっている感じがよろしいね。俺は遠出する事も無いんだが、手帳の予定が日毎に横線で消えていく。

▲したがって、数少ない懇親会と名がつくものも消えるんだが、公共施設が会議の場を貸さないんだから、世間に数多だろう。これの影響もまた数多だろうが。飲み屋で見れば、酒屋に料理の元である魚屋に八百屋、帰りのハイヤーや代行車まで、一杯有りの取り止めの影響はこうもあるんだ。

▲だからお店というお店にはお金が入らない。そのうち貯えが無くなるでしょう。人の接触8割減の自粛でこうなんだから、県には助成の動きがありますが、早急な国の助成がない

と廃業が増えますヨ。

▲誰でもが10万円は、早ければ〇〇までは届くでしょうとは首相の話だが、見る通り今いまま必要なんだぜ。共産党等の声を聴いていれば、当初予算から国民の手に渡っていたものが、これから補正予算の組み換えなんだわ。早ければなんて言っている時じゃネーだろ。

▲しかし、これ一回か。コロナとの戦いは、一回で良いほど早くは終わらないだろうぜ。終わるまでくれなきや国民の暮らしは護られメーヨ。なんて、俺のいう事ではねーか。

▲ところで、景気が悪くなったと言えるのは、リーマンショック以来だつてが、アベノミクスを称えるために随分無理してきたんじゃないの。今は大っぴらに景気が悪いと言えるんだ。無理を積み上げてきた方々はゆっくりしたんデロや。(石川)